

地域のボランティアスクール
横浜みどりの学校ひまわり

ふ れ あ い

2019年9月号 No.36

こんな学校があってもいいかも

(既存の教育にとらわれない学校)

ひまわりは、さつきが丘小学校の元校長が開設した全員が手弁当のボランティアスクール(私塾)です。「公立学校で苦戦する子どもたちを公立学校ではできない手法で支援する」「地域の子どもは地域で育てる」「金のかからない教育の実践」などを掲げて、日々実践しています。

プレスクール構想の実現を目指して

校長 渡辺正彦

横浜みどりの学校は、公立学校で苦戦する子どもたちの支援を目的に設立されましたが、現在、通学生の90%が不登校児童・生徒です。不登校の子どもたちには、家庭へのひきこもりにならず、ひまわりに来て他の子どもたちとの交流を促しております。

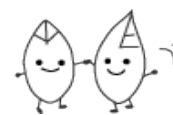
多くの子どもが、家庭への引きこもりを回避してひまわりで元気に活動しております。その子どもたち大部分の次の目標である在籍学校への再登校に向けて、プレスクール構想を現在内部施行しております。

プレスクールは、授業時間・学習形態などを基本的には在籍学校と同じような形式を取りながらも、一授業時間の短縮や授業内容の工夫、授業形態が少人数などスムーズな再登校実現に向けたフレキシブルな工夫が施されております。

下山理事長のご好意を受けて、本年11月開校を目指して施行と施設準備を進めております。横浜みどりの学校ひまわりは、すべての子どもと保護者を支援する地域の「支え合い学校」です。



地域と歩む「ひまわり」



にわとり小屋改修(2019.7.26)

にわとり小屋の新規建築は、かながわ生き生き市民基金の助成金を活用できることとなり、おかげさまで着工のめどが立ちそうです。関係者のみなさま、ご支援・ご協力をありがとうございます。あらたに建築プロジェクトのメンバーを募集中です。

新小屋着工の前に、現在使っている鶏小屋の改修工事を、ボランティアの皆様が行っていただきました。狭い小屋に入り込んでの作業、本当にありがとうございます。風が通り抜けるようになり、小屋内の暑さが少し和らいだのではと思います。



横浜みどりの学校ひまわり 横浜市青葉区しらとり台 80

本事業は共同募金を財源とした[あおばふれあい助成金]の配分を受けて実施しています。

ゲームから広がるひまわりの社会



ひまわりは学校と名がつくのにゲームが出来るのは、ゲームをコミュニケーションツールとして活用しているからです。ゲームをしながら、子どもたちは何気ない会話をしたり、ときに愚痴や人生相談まで話をしたりしています。そして、大好きで本気になるゲームだからこそ、ときどきトラブルがおきます。

先日、どうすればみんなで気持ち良くゲームが出来るかについて、校長先生と子どもたちで話し合いが行われ、ルールを再確認しました。

ルールを提示したら万全というわけではなく、日々いろいろなことが起こり、話し合いは繰り返し行われています。ゲームを通じて広がる小さな社会。子どもたちそれぞれが、異年齢で構成された個性豊かなひまわりで、社会で生きる力を育てていければと思います。

にわたりの成長

ひまわりで孵化したアローカナの雛 3羽と譲り受けた烏骨鶏の雛 3羽はスクスクと成長し、中雛(ちゅうすう)になりました。旧校舎での日中放し飼いの開始。戸を開けると勢いよく飛び出し行き、



暑い日はヤーコンの茂みに隠れるなど、生きる力の強さを見せてくれています。夕方、小屋に戻そうとしても、なかなか帰りがたらない雛たち。毎回、追いかけてっこになっています。農務担当のKさんは「手のかからない子はいないものね。」と深いコメント。雛を通して子育ての学びになります。

毎月第3日曜日は、サンデーフリマ 次回は、9月15日の予定です。

インターナショナルコミュニティ青葉寮にて、毎月第3日曜日の9時～14時サンデーフリマが開催されており、ひまわりで栽培したおいしい夏野菜を販売しています。ぜひお越しください。

今後の予定

- 8/23 (金) ひまわり夏祭り
- 8/24 (土) ボランティア会議
- 8/28 (水) ひまわりヨガ
- 9/11 (水) ひまわりヨガ
- 9/15 (日) サンデーフリマ
- (木) は自主開校予定、(金) はボランティア研修

ボランティア募集

内容: 学習指導・子どもとのふれあい
日時: 月・水・金・土の9時半～16時
短時間でも大歓迎です。
すべて無報酬のボランティアです。
苦戦する子供達のため、悩んでいる保護者のためにお力をお貸し下さい。
臨床心理士も募集中です。